

平成22年3月期 第2四半期決算短信

平成21年11月11日

上場会社名 星和電機株式会社
 コード番号 6748 URL <http://www.seiwa.co.jp>
 代表者 (役職名) 取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役
 四半期報告書提出予定日 平成21年11月12日
 配当支払開始予定日 —

上場取引所 大

(氏名) 増山 晃章
 (氏名) 愛知後 秀作

TEL 0774-55-8181

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第2四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第2四半期	7,374	△13.1	△382	—	△446	—	△192	—
21年3月期第2四半期	8,487	—	△492	—	△509	—	△667	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第2四半期	△15.92	—
21年3月期第2四半期	△55.06	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第2四半期	19,040	7,751	40.1	630.79
21年3月期	19,708	7,905	39.5	643.23

(参考) 自己資本 22年3月期第2四半期 7,639百万円 21年3月期 7,791百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	0.00	—	9.00	9.00
22年3月期	—	0.00	—	—	—
22年3月期 (予想)	—	—	—	12.00	12.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	21,000	0.0	900	219.9	850	275.5	750	—	61.92

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 無

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

(注)詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 22年3月期第2四半期 12,382,000株 21年3月期 12,382,000株

② 期末自己株式数 22年3月期第2四半期 270,661株 21年3月期 269,660株

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 22年3月期第2四半期 12,111,710株 21年3月期第2四半期 12,115,911株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 平成21年5月15日に公表した通期の連結業績予想及び個別業績予想を修正しております。詳細につきましては、本日(平成21年11月11日)公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. 業績予想につきましては、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、さまざまな不確定要素が内在しておりますので、実際の業績はこれらの予想値と異なる場合があります。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期（6か月）におけるわが国経済は、一部に景気底打ちの兆しが見られるものの、企業業績の停滞による設備投資の減少に加え、雇用情勢、個人消費も引き続き低調に推移するなど依然として厳しい状況が続きました。

このような環境下において当社グループでは、従来にも増してコスト低減活動、製品品質向上活動に注力するとともに新製品・新技術開発に努め、事業推進力の一層の強化に取り組んでまいりました。

この結果、当第2四半期の連結売上高は73億74百万円（前年同四半期比13.1%減）となりました。

営業損失は3億82百万円（前年同四半期は4億92百万円の損失）、経常損失は4億46百万円（前年同四半期は5億9百万円の損失）、四半期純損失は1億92百万円（前年同四半期は6億67百万円の損失）となりました。

なお、当グループの売上高は通常の形態として、他の四半期に比べ第4四半期に完成する工事の割合が大きいため、業績に季節的変動があります。

事業部門別の営業の概況は次のとおりであります。

（電気機器関連事業）

情報機器部門につきましては、この部門の主力製品であります道路情報機器の売上が前年同四半期に比べ増加しました。この結果、売上高は29億10百万円（前年同四半期比27.1%増）となりました。

受注高は、高速道路会社向けの大型案件を中心に受注が進んだことから高水準で推移しました。

照明機器部門につきましては、民間設備投資関連の産業用照明器具、公共投資関連の道路・トンネル照明器具ともに減少しました。この結果、売上高は14億85百万円（同31.5%減）となりました。

樹脂製品部門につきましては、配電盤や機械装置に用いる産業用配線保護機材、個人消費のエアコン用配管保護機材ともに減少しました。この結果、売上高は13億30百万円（同26.9%減）となりました。

新規事業部門につきましては、デジタル家電や車載関連の不振の影響を受け、電磁ノイズ対策製品、オプトデバイス製品ともに減少しました。この結果、売上高は14億85百万円（同27.0%減）となりました。

以上、電気機器関連事業の売上高は72億11百万円（同13.3%減）となりました。

（その他の事業）

その他の事業につきましては、商品仕入販売は41百万円、情報サービスなどは1億21百万円となりました。この結果、その他の事業の売上高は1億63百万円（前年同四半期比5.2%減）となりました。

なお、前年同四半期増減率については、参考として記載しております。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

（1）資産、負債、純資産の状況

当第2四半期の資産につきましては、受取手形及び売掛金の減少により、資産の残高は前連結会計年度末に比べ6億68百万円減少し、190億40百万円となりました。負債の残高は、支払手形及び買掛金の減少等の結果、前連結会計年度末に比べ5億14百万円減少し、112億88百万円となりました。純資産の残高は、利益剰余金の減少により、前連結会計年度末に比べ1億54百万円減少の77億51百万円となりました。

（2）キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下資金という）は、有形固定資産の取得や短期借入金金の減少による支出等がありましたが、売上債権の減少等により、前連結会計年度末に比べ15億93百万円増加し、31億6百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果、得られた資金は19億6百万円（前年同四半期は18億19百万円の獲得）となりました。これは、税金等調整前四半期純損失が4億47百万円ありましたが、売上債権の減少45億89百万円等があったことによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果、使用した資金は6億21百万円（前年同四半期は3億60百万円の使用）となりました。これは、有形固定資産の取得による支出が3億42百万円あったこと等によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果、得られた資金は3億10百万円（前年同四半期は17億88百万円の使用）となりました。これは、短期借入金の減少による支出が8億25百万円ありましたが、長期借入による収入が15億円あったこと等によるものであります。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

第2四半期連結累計期間における業績ならびに今後の市場環境の見通しを受け、当初の業績予想を修正しております。

公共投資関連の主力製品であります道路情報機器が、高速道路向けを中心に受注・売上とも当初の予想どおり堅調に推移しております。

一方、民間設備投資関連の産業用照明器具、配線保護機材ならびにデジタル家電向けの電磁ノイズ対策製品は、当初の予想以上に厳しい市場環境が続いております。これらの事業の苦戦により、売上高は、前回発表値を下回る見込みとなりました。

このような状況のなか、全ての事業において引き続き生産性の効率化や業務の合理化による経費の削減、徹底したコストダウン活動による原価の低減を図り、利益の確保に努めてまいります。利益につきましては、概ね前回発表値の水準で推移するものと予想しております。

詳細は、本日（平成21年11月11日）公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

- (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

- (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

完成工事高及び完成工事原価の計上基準の変更

請負工事に係る収益の計上基準については、従来、工期1年以上の工事については工事進行基準を、その他の工事については工事完成基準を適用しておりましたが、「工事契約に関する会計基準」（企業会計基準第15号 平成19年12月27日）及び「工事契約に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第18号 平成19年12月27日）を第1四半期連結会計期間より適用し、第1四半期連結会計期間に着手した工事契約から、当第2四半期連結会計期間末までの進捗部分について成果の確実性が認められる工事については工事進行基準（工事の進捗率の見積りは原価比例法）を、その他の工事については工事完成基準を適用しております。

これにより、当第2四半期連結累計期間の売上高は818,825千円増加し、営業損失、経常損失及び税金等調整前四半期純損失は、それぞれ277,663千円減少しております。

5. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成21年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,293,963	1,700,655
受取手形及び売掛金	3,723,680	8,312,832
有価証券	7,473	50,006
商品及び製品	1,657,084	1,592,609
仕掛品	1,294,277	461,340
原材料及び貯蔵品	2,551,402	2,149,512
その他	790,412	290,976
貸倒引当金	△123	△428
流動資産合計	13,318,170	14,557,505
固定資産		
有形固定資産	2,488,728	2,479,726
無形固定資産	123,910	82,532
投資その他の資産		
投資有価証券	1,858,245	1,320,771
その他	1,347,579	1,347,603
貸倒引当金	△96,633	△79,283
投資その他の資産合計	3,109,191	2,589,091
固定資産合計	5,721,830	5,151,350
資産合計	19,040,000	19,708,855
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,184,730	4,328,652
短期借入金	2,550,000	3,375,000
1年内返済予定の長期借入金	645,600	446,350
未払法人税等	38,041	43,895
受注損失引当金	10,073	34,048
その他	2,779,730	1,659,078
流動負債合計	8,208,177	9,887,024
固定負債		
長期借入金	1,617,350	572,050
長期未払金	262,174	262,174
退職給付引当金	282,645	274,840
役員退職慰労引当金	71,990	71,990
偶発損失引当金	497,850	488,470
その他	348,161	246,526
固定負債合計	3,080,171	1,916,051
負債合計	11,288,348	11,803,075

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成21年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,380,000	3,380,000
資本剰余金	3,613,665	3,613,665
利益剰余金	409,097	710,869
自己株式	△193,986	△193,628
株主資本合計	7,208,776	7,510,906
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	441,673	296,457
為替換算調整勘定	△10,725	△16,288
評価・換算差額等合計	430,947	280,168
少数株主持分	111,927	114,703
純資産合計	7,751,651	7,905,779
負債純資産合計	19,040,000	19,708,855

(2) 四半期連結損益計算書
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)
売上高	8,487,021	7,374,724
売上原価	7,267,641	6,020,660
売上総利益	1,219,379	1,354,063
販売費及び一般管理費	1,711,574	1,736,851
営業損失(△)	△492,195	△382,787
営業外収益		
受取利息	2,660	3,207
受取配当金	21,863	17,941
不動産賃貸料	18,473	17,732
その他	23,814	7,616
営業外収益合計	66,812	46,497
営業外費用		
支払利息	32,102	22,329
売上割引	48,347	34,469
その他	3,964	53,284
営業外費用合計	84,414	110,083
経常損失(△)	△509,797	△446,373
特別利益		
前期損益修正益	—	32,585
投資有価証券売却益	—	8,700
貸倒引当金戻入額	199	305
特別利益合計	199	41,591
特別損失		
固定資産除却損	9,436	30,995
減損損失	182,000	—
投資有価証券売却損	716	—
投資有価証券評価損	8,505	—
損害賠償金	25,807	—
偶発損失引当金繰入額	15,710	9,380
ゴルフ会員権評価損	—	2,750
特別損失合計	242,175	43,125
税金等調整前四半期純損失(△)	△751,773	△447,908
法人税、住民税及び事業税	8,440	14,909
法人税等調整額	△87,549	△267,458
法人税等合計	△79,109	△252,548
少数株主損失(△)	△5,576	△2,598
四半期純損失(△)	△667,087	△192,761

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失(△)	△751,773	△447,908
減価償却費	313,727	197,193
投資有価証券売却損益(△は益)	—	△8,700
投資有価証券評価損益(△は益)	8,505	—
減損損失	182,000	—
貸倒引当金の増減額(△は減少)	—	17,044
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△5,804	7,805
受注損失引当金の増減額(△は減少)	—	△23,974
偶発損失引当金の増減額(△は減少)	△182,762	9,380
受取利息及び受取配当金	△24,524	△21,148
支払利息	32,102	22,329
固定資産除却損	9,268	20,748
売上債権の増減額(△は増加)	4,831,150	4,589,940
たな卸資産の増減額(△は増加)	△888,537	△1,295,606
仕入債務の増減額(△は減少)	△1,502,489	△1,158,505
その他	△184,681	14,254
小計	1,836,180	1,922,854
利息及び配当金の受取額	25,139	20,850
利息の支払額	△24,536	△19,064
法人税等の支払額	△16,822	△18,121
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,819,961	1,906,519
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△311,730	△342,350
無形固定資産の取得による支出	△34,594	△49,343
投資有価証券の取得による支出	△23,759	△285,117
投資有価証券の売却による収入	4,044	43,800
その他	5,384	11,889
投資活動によるキャッシュ・フロー	△360,655	△621,122
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△981,123	△825,000
長期借入れによる収入	—	1,500,000
長期借入金の返済による支出	△659,400	△255,450
自己株式の取得による支出	△1,191	△358
配当金の支払額	△145,405	△109,011
少数株主への配当金の支払額	△1,185	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,788,305	310,180
現金及び現金同等物に係る換算差額	2,449	△2,262
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△326,549	1,593,314
現金及び現金同等物の期首残高	2,401,559	1,513,121
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,075,009	3,106,436

(4) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。

6. その他の情報

1. 当四半期 (22年3月期)の業績(連結)

(単位：百万円)

	前四半期(21年3月期)		当四半期(22年3月期)		対前四半期増減		前期(21年3月期)		
	金額	百分比(%)	金額	百分比(%)	金額	増減率(%)	金額	百分比(%)	
業績	売上高	8,487	100.0	7,374	100.0	△ 1,112	△13.1	20,993	100.0
	営業利益	△ 492	△5.8	△ 382	△5.2	109	22.2	281	1.3
	経常利益	△ 509	△6.0	△ 446	△6.1	63	12.4	226	1.1
	当期純利益	△ 667	△7.9	△ 192	△2.6	474	71.1	△ 1,177	△5.6
配当金(単位:円)	—	—	—	—	—	—	9	—	

2. 部門別売上高・受注状況(連結)

(単位：百万円)

	前四半期(21年3月期)		当四半期(22年3月期)		対前四半期増減		前期(21年3月期)		
	金額	構成比(%)	金額	構成比(%)	金額	増減率(%)	金額	構成比(%)	
売上高	情報機器	2,289	27.0	2,910	39.5	620	27.1	9,841	46.9
	照明機器	2,169	25.5	1,485	20.1	△ 683	△31.5	4,242	20.2
	樹脂製品	1,821	21.5	1,330	18.1	△ 490	△26.9	2,899	13.8
	新規事業	2,034	24.0	1,485	20.1	△ 549	△27.0	3,518	16.8
	その他	171	2.0	163	2.2	△ 8	△5.2	491	2.3
	合計	8,487	100.0	7,374	100.0	△ 1,112	△13.1	20,993	100.0
受注高	情報機器	3,092	41.4	6,019	63.7	2,927	94.7	10,909	58.9
	照明機器	2,313	31.0	1,883	19.9	△ 430	△18.6	4,205	22.7
	新規事業	2,063	27.6	1,551	16.4	△ 512	△24.8	3,401	18.4
	合計	7,469	100.0	9,453	100.0	1,984	26.6	18,516	100.0
受注残高	情報機器	4,270	83.7	7,644	88.8	3,374	79.0	4,535	90.0
	照明機器	570	11.2	786	9.1	215	37.8	389	7.7
	新規事業	262	5.1	183	2.1	△ 79	△30.1	117	2.3
	合計	5,103	100.0	8,614	100.0	3,511	68.8	5,042	100.0

3. その他

(単位：百万円)

	前四半期(21年3月期)		当四半期(22年3月期)		対前四半期増減		前期(21年3月期)	
	金額		金額		金額		金額	
その他	設備投資	376	212	△ 164	819			
	減価償却費	313	197	△ 116	666			
	研究開発費	191	304	113	395			

4. 通期(22年3月期)の業績予想(連結)

(単位：百万円)

	通期予想				
	予想		対前期増減		
	金額	百分比(%)	金額	増減率(%)	
業績	売上高	21,000	100.0	6	0.0
	営業利益	900	4.3	618	219.9
	経常利益	850	4.0	623	275.5
	当期純利益	750	3.6	1,927	—
配当金(単位:円)	12	—	—	—	

部門別売上高予想

(単位：百万円)

	通期予想		対前期増減		
	金額	構成比(%)	金額	増減率(%)	
売上高	情報機器	11,800	56.2	1,958	19.9
	照明機器	3,500	16.7	△ 742	△17.5
	樹脂製品	2,200	10.5	△ 699	△24.1
	新規事業	3,100	14.7	△ 418	△11.9
	その他	400	1.9	△ 91	△18.6
	合計	21,000	100.0	6	0.0

その他予想

(単位：百万円)

	通期予想	
	金額	対前期増減
設備投資	800	△ 19
減価償却費	400	△ 266
研究開発費	600	205